



若年層における 教育に関する取り組み

公益社団法人
日本臓器移植ネットワーク

広報・啓発事業部 部長
松田 尚明



基本的な考え方

臓器移植を
正しく理解する



いのちの大切さについて
認識を深める

- 臓器移植は、善意による第三者からの臓器の提供があって成り立つ医療であり、社会全体の理解が必要であること
- 誰もが、臓器を提供する立場にも、移植を必要とする立場にもなり得るが、「提供する」「提供しない」「移植を受ける」「受けない」等の意思を自ら決められること

- 生と死の問題に直接向き合えること
- いのちの見方を多面的に深められること
- 生きることについて前向きに考えられること

学習指導要領（中学校 特別の教科道徳）

- 内容項目：生命の尊さ 等
- 内容の取扱い：現代的な社会課題であること
- 指導方法：主体的・対話的で深い学びにつながること



若年層向けの取り組み（概略）

<目的>

- ① 臓器移植に関する情報に接する機会の確保・拡大を図る。
- ② 適切な情報の提供を通して、臓器移植医療への理解の促進を図る。
- ③ 学びを通して、友人、家族等との対話を促すことで、社会全体への理解へのつながり、移植医療が共にある社会づくりへの意識と行動の醸成を図る。

<取り組み>

若年者の臓器移植を題材とした学びに必要な以下の支援を実施している。

- ① 教材等の提供
- ② 教育者向けセミナーの開催
- ③ 講師を派遣する出前授業





(参考)臓器移植を題材とした授業等への学び支援の対象

種別	学校数	対象人口 (人)	教科との親和性
小学生	19,738校 国立：69／公立：19,432／私立：237	(生徒／教員) 630万／34万	・ 道徳 ※教科化 (2018年度～) ・ 保健体育
中学生	10,222校 国立：70／公立：9,371／私立：781	(生徒／教員) 321万／24,7万	・ 道徳 ※教科化 (2019年度～) ・ 理科〔脳死/植物状態〕 ・ 公民〔4つの権利〕 ・ 保健体育 ・ 総合の学習
高校生	4,887校* 国立：15／公立：3,550／私立：1,322 *全日制、定時制のみ	(生徒／教員) 309万／23万	・ 保健体育 ※学習指導要領解説に臓器移植の記載有 ・ 公民 ・ 生物 ・ 総合の学習
大学生 専門学生含む	795校 国立86／公立94／私立615	(生徒／教員) 290万／40.8万	・ 一般教養 ・ 生命倫理 ・ 医事法 ・ 医療関連科目 ・ 探究活動

データ参考：[ナレッジステーションの学校データ \(令和2年度\) \(gakkou.net\)](http://gakkou.net)
[【2020年最新版】高校に関する統計まとめ\(高校の数・教員数・職員数の推移\) \(education-career.jp\)](http://education-career.jp)
[文部科学統計要覧\(平成30年版\):文部科学省 \(mext.go.jp\)](http://mext.go.jp)



【取り組み①教材等の提供】 授業での活用に向けた資材・教材の提供

厚生労働省による全国の中学2年生に向けたパンフレットの配布に合わせ、授業の実施を促すために、教育者向けの解説書を同送している。

また、広くホームページ等で周知し、授業に活用できる資材の提供（年間約400件）を実施している。

● 教育者向け解説書

2012年度から年間約3万部配布(学校、教育委員会等)



- 授業展開の提案／解説
- 授業で活用できる教材や取組みの案内

- 厚生労働省製作パンフレット
2004年度から年間約159万部
(約11,000校)配布



(参考) 授業で活用できる資材 (教材)

● 道徳教材セット「つながるいのち」

- マンガ動画
- マンガ冊子
- 学習指導案



● 小冊子/絵本



● 臓器移植経験者等の手記





【取り組み②教育者向けセミナーの開催】 教育者向けセミナー

教育者を対象として、以下の情報を提供し、授業の実施に向けての課題解決につなげている。

<対象>

- ・ 教師（小学校・中学校・高等学校）
- ・ 教育関係者（都道府県及び市町村等の教育委員会等）
- ・ 教育出版社等

<内容>

- ・ 学習の目的・効果
- ・ 臓器移植の基礎情報
- ・ 授業実施者からの情報共有

- ✓ 学習指導案
- ✓ 授業で使った資料（映像資料、配布資料等）
- ✓ 授業実施動画（発問・インストラクション等）
- ✓ 生徒や家庭への配慮等

<実績>

参加者 160名（令和2年度／Web開催）

結果 授業実施の意向：約90%

課題解決：授業目的やゴールイメージの明確化、発問や指導のイメージの明確化等



[授業が実践できる資料一式]



(参考) 中学校道徳教科書一覧

2019年度からの中学校における道徳の教科化に伴い、道徳の教科書のうち、8社中7社に臓器移植を題材にした内容が掲載されている。

出版社名	目次タイトル	主な内容	項数
日本文教出版	臓器ドナー	医療者である自分の場合には提供に肯定的であるが家族には否定的な立場、また、小学生の子どもをもつ母親の否定的な立場のそれぞれの新聞投稿を読み、立場を変えて臓器移植について考える。	4
光村図書	つながる命	臓器提供をした6歳未満の女兒の家族の手記(新聞記事)を読み、その家族の気持ち、命とは何かを考える。	3
教育出版	家族の思いと意思表示カード	提供の意思を示していた大学生の姉が脳死とされうる状態のときに、両親の葛藤や中学生の自分の気持ちを描いた物語を読み、家族の気持ち、意思表示、いのちの大切さを考える。	2
学研教育みらい	あなたの命は誰のもの	臓器移植医療をドナーの家族、移植経験者をはじめとする6人の立場からのコメントを読み、それぞれの立場での臓器移植について考えさせる。	4
廣済堂あかつき	ドナー	上記「臓器ドナー」と同じ2つの立場の新聞投稿を読み、命はだれのものなのかを考える。	3
日本教科書	臓器移植をめぐる命と心	臓器移植の現状、ドナーの家族が綴った手記や報道、死に対する文化的な背景等を通して、現代社会の課題として臓器移植を考える。	6
学校図書	大きな木	臓器移植を題材にした絵本を読み、登場人物の立場になって考え、自分の死後の臓器の提供について見つめる。	8
東京書籍	—	—	—



【取り組み③講師を派遣する出前授業・④JOTでの学習の受け入れ】 講師を派遣する出前授業／JOTでの学習の受け入れ

● 講師を学校に派遣する出前授業

臓器移植の関係者（コーディネーター、医療者、移植者、ドナー家族等）を講師として教育施設へ派遣し、「臓器移植」を題材とした授業の実施を支援する出前授業を実施した。

各都道府県における普及啓発については、各都道府県における普及啓発団体（都道府県コーディネーター）と協働し、実施している。

● JOTでの学習の受け入れ

校外学習、探求学習等を、社団にて受け入れを実施している。

近年、その数は増加しており、年間で約30件程度、約500名弱の生徒を受け入れている。





今後について

- 各教育課程における学習の機会の拡大
- 中学校では、道徳における「臓器移植」を題材にした教科書の掲載内容に則した情報提供による支援の強化
- 高等学校等では、保健体育や総合の学習等としての学びのモデルケースや学習指導案等の提案、及び教育用資材の開発の推進
- 臓器移植を題材にした授業の実施が進むような環境の整備